

## (公社) 日本植物学会2020年度事業報告

(2020年1月1日～2020年12月31日)

### I. 事業の状況

#### 事業の概要

本学会は、植物科学に関する研究の進展と知識の普及に関する事業を行い、学術の発展に寄与することを目的としている。2020年度は、下記の2公益事業を中心に、高い公益性を実現するための施策と事業を展開した。

#### (公益事業1) 学会誌及び学術図書の発行、及びインターネットによる植物学と関連技術の最新情報公表

学術雑誌の刊行については、Journal of Plant Research (JPR) 133巻1号～6号(6冊)の発行と電子出版を行った。科学研究費補助金「国際情報発信強化(B)」に関する事業を実施した。植物科学関連の学術集会、研究動向、出版物、研究助成公募、求人公募等の植物科学教育研究情報を収集し、その情報を学会情報誌や日本植物学会ウェブサイトを通じて提供した。さらに一般向け情報をウェブサイト上で公開した。国内外の研究機関に対して、JPRの寄贈と交換を行った。日本植物学会の所蔵図書を会員や外部閲覧希望者に無料で公開した。

#### (公益事業2) 研究発表大会及びシンポジウム・学術講演会・講習会の開催及び関連団体との協働による植物科学の発展と関連技術の振興の推進

定例学術集会として、日本植物学会大会をオンラインにて開催した(大会事務局は愛知県名古屋市に設置)。また社会への啓発活動等として、大会において一般向け公開講演会および高校生研究ポスター発表会を開催した。これらに加えて、一般向け講演会をオンラインで開催した。学術業績の表彰その他研究の奨励として、日本植物学会賞の選考と授与を行った。さらに、大会時に高校生研究ポスター賞を授与した。また各種団体による賞・研究助成金公募への推薦を行った。国内外の関係学術団体、学術連合との連絡及び交流などを協力事業として行った。講演会、講習会等の後援を行った。その他、各地の関連学会を通じた研究動向調査、植物科学教育研究情報の収集と公開を行った。

#### 1. 学会誌及び学術図書の発行、及びインターネットによる植物学と関連技術の最新情報公表(公益事業1)

##### ア. 学術雑誌及びその他の出版物の刊行(電子情報も含む)

##### JPR編集委員会

(1) JPR 133巻1号～6号、(A4変形版、論文頁数932頁、紙版:年6回隔月(奇数月)発行、発行部数210部、オンライン版:随時維持・整備)の編集と発行を行った。

- (2) 質の高い論文誌発行のため、以下の施策を実施した。
  - ① 科学研究費補助金の支援により日本植物学会大会（名古屋大会）においてJPRシンポジウム1件を企画し、実施した。
  - ② JPRシンポジウム論文の掲載、Current Topics in Plant Researchへの論文招待、オープンアクセス論文の選考を実施した。
  - ③ インパクトファクターやその他の指標（ゼロ被引用論文数、分野別・国別被引用数等）の解析を行い、ジャーナルの国際的な評価の向上策として、科学研究費の支援により、10本の論文をオープンアクセス化した。
- (3) JPR編集協力委員（Editorial Board Member）の協力による編集体制の強化を図るとともに、読者データベースおよび投稿・審査システムを維持した。編集方針の整備と公開を行った。
- (4) 著者・購読者に対するサービスの向上のために、学会ウェブサイト上での和文要旨の公開、および投稿ガイドライン・規程類の整備と公開を行った。
- (5) Twitterによる、JPR の情報発信力強化をおこなった。
- (6) 編集委員会、拡大編集委員会（大会会期中）を開催し、JPRの質の向上のための意識統一と施策の検討を行った。

#### 広報委員会

- (1) 植物科学関連の学術集会、研究助成公募、求人公募等の植物科学教育研究情報を収集し、日本植物学会ウェブサイトを通じて情報提供を行った。
- (2) 学会ウェブサイトのメンテナンスを実施し、利便性を高めた。
- (3) 一般向けサービスとして、ウェブサイト上でのハイスクール会友の入会案内を掲載した。一般の方々から8件の質問に回答し、植物科学の社会への普及に貢献した。
- (4) Twitterによる、植物科学関連の情報発信をおこなった。
- (5) 一般講演会のオンライン開催の準備、運営をおこなった。

#### 電子出版物編集委員会

- (1) BSJ-Review vol. 11として、「宇宙から識る植物科学」、「植物の発生を支える分子メカニズム ～分裂、輸送とその制御～」および「人工知能で切り開く植物科学の近未来」の各総説の編集作業を行い、電子出版した。これらの総説にDOI番号を付与した。
- (2) BSJ-Review vol. 12の編集方針を決定し、執筆者に原稿依頼を行った。
- (3) BSJ-Reviewが10周年を迎えた記念として、特集「30年後の植物科学」の原稿を募り、学会ウェブサイトで開催した。

#### イ. JPRの国内外の研究機関への寄贈と交換

- (1) 国内外の研究機関等に対してJPRの寄贈と交換を行った。

(2) JPRとの交換で得られた雑誌を本学会員や外部閲覧者に無料で公開した。

#### ウ. 植物学関連図書の閲覧公開

東京大学大学院理学系研究科附属植物園に保管している日本植物学会の所蔵図書を、会員や外部閲覧希望者に無料で公開した。

## 2. 研究発表大会及びシンポジウム・学術講演会・講習会の開催及び関連団体との協働による植物科学の発展と関連技術の振興の推進（公益事業2）

### ア. 学術集会、講演会、講習会などの開催

#### 大会として

##### 大会実行委員会

- (1) 日本植物学会第84回大会を2020年9月19日から9月21日までの3日間、オンラインにて開催した（大会事務局は愛知県名古屋市内に設置）。参加者は1,199名、演題は541題であった。大会の要旨集（284ページ）を作成し発行した。一般向け公開講演会「植物はオモシロイ！」（2020年9月21日にZoomウェビナーにより開催）の企画と実施、およびシンポジウムの公募と選定を行った。公募シンポジウム、口頭・ポスター発表、高校生ポスター発表会、展示ブースのためのプログラム作成とオンライン開催のための準備を行った。ダイバーシティ推進ランチョンセミナー「海外どうですか？～欧・米・アジア、比べて見えてくる多様な研究ライフ」（2020年9月20日実施）を、理事会、ダイバーシティ推進委員会と協働で実施した。
- (2) 会員サービスとして、講演要旨集の電子媒体（電子ブック版）での提供を行った。
- (3) 大会の実施にあたって、運営に関しては庶務担当理事と、経理に関しては会計担当理事と連絡を密にし、大会の運営にあたった。
- (4) 日本植物学会賞受賞者（大賞1件、学術賞1件、奨励賞1件、若手奨励賞4件、JPR論文賞3件）の授賞式と講演会を行った。高校生ポスター発表会の優秀ポスターについて、表彰を行った。

##### 広報委員会

日本植物学会第84回大会における理事会主催シンポジウムを企画したが、オンライン開催のため延期した。

##### ダイバーシティ推進委員会

日本植物学会第84回大会におけるダイバーシティ推進ランチョンセミナーを大会実行委員会と企画し、「海外どうですか？～欧・米・アジア、比べて見えてくる多様な研究ライフ」と題するダイバーシティ推進に関するセミナーを行った。

### 運営委員会

- (1) 庶務担当理事は大会の運営に関して、会計担当理事は大会の経理に関して、大会実行委員会の担当者と協議し運営を補佐した。
- (2) 庶務担当理事は、年次学術集会中の以下の委員会の開催に必要な会場について、大会実行委員会の担当者と協議した（運営委員会、臨時代議員会、JPR編集委員会、JPR拡大編集委員会、日本植物学会関連団体意見交換会、学会賞選考委員会、拡大広報・電子出版物編集委員会、ダイバーシティ推進委員会、大会引き継ぎの会合）。

### 学会全体として

一般向け講演会「植物が好き！-植物科学が拓く新しい世界-2020」（2020年12月12日）を企画し、オンラインにより開催した。講演会、講習会等の後援を行った。

### 後援3件

- (1) 「藤原ナチュラルヒストリー振興財団設立40周年記念 公開シンポジウム（海と地球の自然史-変わりゆく海洋環境から海洋プラスチックごみまで地球の問題を考える-）」（公益財団法人藤原ナチュラルヒストリー振興財団）2020年10月10日→2021年度延期 開催予定会場：東北福祉大学仙台駅東口キャンパス
- (2) 第10回 高校生バイオサミット in 鶴岡（主催：高校生バイオサミット実行委員会（慶應義塾大学先端生命研究所、山形県、鶴岡市））2020年8月24日～8月26日  
場所：オンライン形式で開催
- (3) 「『青少年のための科学の祭典2020』」（主催：（公財）日本科学技術振興財団・科学技術館人材育成部「青少年のための科学の祭典事務局」）2020年6月13日～2021年2月28日予定 会場：全国55会場（開催中止会場あり）

## イ. 研究業績の表彰その他研究の奨励

### 学会賞選考委員会

- (1) 2020年度日本植物学会賞候補者の選考（大賞、学術賞、奨励賞、若手奨励賞、特別賞（技術・教育・その他））を行い、会長に報告してその承認を得るとともに、理事会に報告した。
- (2) 2020年度日本植物学会賞の選考にあたり、候補者の募集を行った。

### JPR編集委員会

JPRに掲載された論文からJPR論文賞候補を選考し、会長に報告してその承認を得るとともに、理事会に報告した。

### ウ. 国内外の関係学術団体との連絡及び協力

#### 学協会委員

生物科学学会連合、光生物学協会、理数系学会教育問題連絡会、自然史学会連合、男女共同参画学協会連絡会に委員を派遣し、協力した。

#### ダイバーシティ推進委員会

第18期、第19期男女共同参画学協会連絡会の運営委員会、シンポジウムに参加し、協力した。

#### 学会全体

- (1) 日本学術会議第二部基礎生物学委員会、統合生物学委員会・農学委員会合同植物科学分科会と連携し、日本の政策決定に向けて提言の作成、および提言を実現するための具体的な施策に関する事項を担当した。
- (2) 生物科学学会連合を通じて、参加学会との連携・協力を行った。
- (3) 各地の植物学会との連携・協力を行った。

### エ. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

各地の植物学会を通じて、研究動向調査を行った。広報委員会を通じて、植物科学教育研究情報の収集とウェブサイトでの公開を行った。

## 3. 管理業務

#### 運営委員会

- (1) 2020年度の事業報告案と決算案を検討、作成した。
- (2) 2020年度補正予算案及び2021年度の事業計画案と予算案を検討、作成した。
- (3) 学会全体と学会内の委員会が関与する諸事項を検討し、事前に対応策を立案し、理事会へ提案した。
- (4) JPR編集委員会の支援を継続的に行った。
- (5) 学会の財政基盤を安定化するために、総合的な検討を行った。
- (6) 学会の活性化のため、会員数の維持・増加にむけての方策を検討した。
- (7) 日本植物学会表彰制度の実施と広報の活発化を図った。
- (8) 学会運営の合理化に関して、予算措置を含め検討し、効率的な学会の構築策を立案した。

- (9) 公益法人資格を維持するために必要な業務を行った。
  - ① 公益法人認定基準に照らした学会運営状況を確認した。
  - ② 内閣府公益認定等委員会へ事業計画、事業報告等を提出した。

### 庶務関係

- (1) 代議員会開催に関する準備と運営を行った。
- (2) 公益社団法人日本植物学会第五期代議員選挙事務を行った。
- (3) 会員サービスの向上を目的として各地の植物学会との連携を推進した。
- (4) 関連委員会との連携を強化した。
- (5) 公益法人体制における各種規程・契約の審議基準の見直し等、本部業務全般に渡る業務効率化の推進を行った。

### 会計関係

- (1) 2020年度の経理管理と決算処理を遂行し、2021年度予算案を策定した。
  - ① 単年度経常収支均衡を原則とする弾力性のある経理管理を行った。
  - ② 会計報告(月次)および決算報告(年次)を行った。
  - ③ 単年度経常収支均衡の原則下での活力のある学会を目指した予算を策定した。
  - ④ 収入増、支出減のための所要の施策を検討した。
- (2) 各委員会等の新規事業立案に対して経理面での建議、支援を行った。
- (3) 各種引当預金の使用計画を具体的に策定した。
  - ① 中長期的視点に立った使用計画を立案した。
- (4) 中長期的学会運営に関し経理面の課題を検討し、対策を立案した。

### 広報委員会

- (1) ウェブサイトの恒常的なメンテナンス作業を行った。
- (2) ウェブサイトのアクセス解析を行い、コンテンツの向上を図った。
- (3) 委員長が運営委員会に運営委員として、また理事会にオブザーバーとして参加し、広報活動の強化に関して提言を行った。
- (4) オンラインによる公益社団法人日本植物学会第五期代議員選挙実施の補助をおこなった。

### 選挙管理委員会

公益社団法人日本植物学会第五期代議員選挙を実施した。

## II. 処務の概要

1. 定例代議員会1回、臨時代議員会1回、理事会9回、運営委員会3回およびその他の会合を開催した。
2. 諸規則の整備を行った。
3. 公益社団法人日本植物学会第五期代議員選挙を実施した。(2020年6月13日開票)
4. 役員等に関する事項

### (1) 2020年 会長、理事、監事

#### 【役員・理事】

代表理事（会長）	三村 徹郎	（神戸大）
専務理事	川合 真紀	（埼玉大）
編集担当理事	彦坂 幸毅	（東北大）
理事	加藤 美砂子	（お茶の水女子大）
理事	経塚 淳子	（東北大）
理事	河内 孝之	（京都大）
理事	園池 公毅	（早稲田大）
理事	松永 幸大	（東京理科大）
理事	村上 哲明	（首都大学東京）
庶務担当理事	植村 知博	（お茶の水女子大）
会計担当理事	矢守 航	（東京大）
【役員・監事】		
	河野 重行	（東京大学フューチャーセンター推進機構）
	福田 裕穂	（東京大）

### (2) 公益社団法人日本植物学会第五期代議員 44名

所属地区 (代議員定数)	氏名	所属名
北海道 (2名)	長里 千香子	北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター
	藤田 知道	北海道大学大学院 理学研究院
東北 (3名)	経塚 淳子	東北大学大学院 生命科学研究科
	笹部 美知子	弘前大学 農学生命科学部
	彦坂 幸毅	東北大学大学院 生命科学研究科
北陸 (2名)	唐原 一郎	富山大学 学術研究部 理学系
	西山 智明	金沢大学学際科学実験センター遺伝子研究施設
東関東 (5名)	大谷 美沙都	東京大学大学院 新領域創成科学研究科
	佐藤 忍	筑波大学 生命環境系
	寿崎 拓哉	筑波大学 生命環境系
	鈴木 石根	筑波大学 生命環境系
	綿野 泰行	千葉大学大学院 理学研究院
西関東 (5名)	金子 康子	埼玉大学 教育学部
	川合 真紀	埼玉大学大学院 理工学研究科
	下嶋 美恵	東京工業大 生命理工学院
	杉本 慶子	理化学研究所 環境資源科学研究センター
	平井 優美	理化学研究所 環境資源科学研究センター
東京 (7名)	阿部 光知	東京大学大学院 総合文化研究科
	伊藤(大橋) 恭子	東京大学大学院 理学系研究科
	加藤 美砂子	お茶の水女子大学 基幹研究院 自然科学系
	川北 篤	東京大学大学院 理学系研究科 附属植物園
	榊原 恵子	立教大学 理学部 生命理学科

	永田 典子	日本女子大学 理学部 物質生物科学科
	野口 航	東京薬科大学 生命科学部 応用生命科学科
中部 (5名)	上田 貴志	自然科学研究機構 基礎生物学研究所
	榊原 均	名古屋大学大学院 生命農学研究科
	長谷部 光泰	自然科学研究機構 基礎生物学研究所
	町田 千代子	中部大学 応用生物学部 (植田美那子会員が2020年10月から東北大学へ異動のため交代)
	森田(寺尾)美代	自然科学研究機構 基礎生物学研究所
近畿 (7名)	石崎 公庸	神戸大学大学院 理学研究科
	稲田 のりこ	大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科
	河内 孝之	京都大学大学院 生命科学研究科
	出村 拓	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科
	西村 いくこ	甲南大学 学長室
	松下 智直	京都大学大学院 理学研究科
	安居 佑季子	京都大学大学院 生命科学研究科
中国 (3名)	池田 陽子	岡山大学 資源植物科学研究所
	且原 真木	岡山大学 資源植物科学研究所
	本瀬 宏康	岡山大学大学院 自然科学研究科
四国 (1名)	刑部 祐里子	徳島大学 生物資源産業学部
九州 (3名)	相田 光宏	熊本大学 国際先端科学技術研究機構
	副島 顕子	熊本大学大学院 先端科学研究部
	祢冨 淳太郎	九州大学大学院 理学研究院
沖縄 (1名)	傳田 哲郎	琉球大学 理学部 海洋自然科学科



## 5. 代議員会

### (1) 定例代議員会

2020年3月1日(土) 13:00-14:30、東京大学理学部2号館 第2講義室(223号室)において開催され、次の議案が付議され、原案通り承認された。

開催年月日	議決事項	
2020年 3月1日	第一号議案 公益社団法人日本植物学会 2019年度決算報告(案)	承認
	第二号議案 公益社団法人日本植物学会細則(改定案) 会員種別の呼称変更について	承認
	第三号議案 公益社団法人日本植物学会細則(改定案) 男女共同参画委員会の名称変更について	承認

### (2) 臨時代議員会

2020年9月18日(土) 17:00-20:05、Zoomによるオンラインで開催され、次の議案が付議され、原案通り承認された。

開催年月日	議決事項	
2020年 9月18日	第一号議案 公益社団法人日本植物学会 2021年度事業計画(案)	承認
	第二号議案 公益社団法人日本植物学会 2020年度収支補正予算(案)	承認
	第三号議案 公益社団法人日本植物学会 2021年度収支予算(案)	承認
	第四号議案 令和3年資金調達及び設備投資の見込みについて	承認
	第五号議案 次期選挙管理委員について	承認

## 6. 理事会

### (1) 2020年度第一回理事会

2020年1月27日(月)、定款29条2項に基づく理事会決議において開催され、以下の審議を行った。

議決年月日	議決事項	
2020年 1月27日	公益社団法人日本植物学会正会員(シニア会員)規程(改定案)	承認

### (2) 2020年度第二回理事会

2020年2月2日(日) 13:00-17:15、東京大学理学部2号館 第2講義室(223号室)において開催され、以下の審議を行った。

開催年月日	議決事項	
2020年 2月2日	(1) 公益社団法人日本植物学会 2019年度事業報告(案)	承認
	(2) 公益目的事業に充てる会費配賦について	承認
	(3) 公益社団法人日本植物学会 2019年度決算報告(案)	承認
	(4) 次期運営委員について	承認
	(5) JPR 編集委員の承認について	承認
	(6) 会員種別による呼称変更について	承認
	(7) 公益社団法人日本植物学会細則(改定案) 会員種別の呼称変更について	取下
	(8) 公益社団法人日本植物学会男女共同参画委員会の名称変更に関する要望書について	承認
	(9) 公益社団法人日本植物学会男女共同参画委員会に関する内規(改定案)	承認
	(10) 公益社団法人日本植物学会細則(改定案) 男女共同参画委員会の名称変更に	承認

	について	
	(11) 公益社団法人日本植物学会 役員・委員等選出方法概要 (改定案)	承認
	(12) 公益社団法人日本植物学会謝金規程 (改定案)	承認
	(13) 公益社団法人日本植物学会大会開催に関する覚書 (改定案)	承認
	(14) 公益社団法人日本植物学会大会開催に関する覚書別表 (改定案)	承認
	(15) 会費未納による会員資格喪失対象者について	承認
	(16) JPR 編集室非常勤職員の時給手当について	承認
	(17) 2020 年度定例代議員会について	承認
	(18) 2020 年度定例代議員会に於ける書面による議決権行使の承認並びに書面による議決権行使期限の承認について	承認

(3) 2020年度第三回理事会

2020年2月6日(木)、定款29条2項に基づく理事会決議において開催され、以下の審議を行った。

議決年月日	議決事項	
2020年 2月6日	(1) 公益社団法人日本植物学会細則 (改定案) 会員種別の呼称変更について	承認

(4) 2020年度第四回理事会

2020年4月3日(金)、定款29条2項に基づく理事会決議において開催され、以下の審議を行った。

議決年月日	議決事項	
2020年 4月3日	(1) 日本植物学会第84回大会(名古屋)のオンライン開催について	承認

(5) 2020年度第五回理事会

2020年8月1日(土)13:00-17:40、公益社団法人日本植物学会事務局とZOOMにおいて開催され、以下の審議を行った。

議決年月日	議決事項	
2020年 8月1日	(1) 公益社団法人日本植物学会2021年度事業計画(案)	承認
	(2) 事務局職員の賞与、退職手当の見直しについて	承認
	(3) 公益社団法人日本植物学会職員給与規程(改定案)	承認
	(4) 公益社団法人日本植物学会退職金規定(改定案)	承認
	(5) 公益社団法人日本植物学会2020年度収支補正予算(案)	承認
	(6) 公益社団法人日本植物学会2021年度収支予算(案)	承認
	(7) 令和3年度資金調達及び設備投資の見込みについて	承認
	(8) 公益社団法人日本植物学会非常勤職員給与規程(改定案)	承認
	(9) 公益社団法人日本植物学会職員就業規則(改定案)	承認
	(10) 公益社団法人日本植物学会非常勤職員就業規則(改定案)	承認
	(11) 公益社団法人日本植物学会会長候補者選挙施行細則(改定案)	承認
	(12) 公益社団法人日本植物学会代議員選挙施行細則(改定案)	承認
	(13) 公益社団法人日本植物学会大会の覚書(改定案)	承認
	(14) 公益社団法人日本植物学会謝金規程(改定案)	承認
	(15) 公益社団法人日本植物学会賞の選考に関する覚書(改定案)	取下
	(16) 一般向け講演会の企画について	承認

	(17) 2021 年度大会会長について	承認
	(18) 公益社団法人日本植物学会契約委員（八王子大会）の承認について	承認
	(19) 公益社団法人日本植物学会契約委員（会員管理システム）の承認について	承認
	(20) 次期選挙管理委員について	承認
	(21) 令和 2 年 7 月豪雨で被災された会員への対応について	承認
	(22) 2020 年度臨時代議員会について	承認
	(23) 2020 年度臨時代議員会に於ける書面による議決権行使の承認並びに書面による議決権行使	承認

(6) 2020 年度第六回理事会

2020 年 8 月 26 日（水）、定款 29 条 2 項に基づく理事会決議において開催され、以下の審議を行った。

議決年月日	議決事項	
2020 年 8 月 26 日	(1) 2020 年 8 月末日退職者への退職金の支払いについて	承認

(7) 2020 年度第七回理事会

2020 年 10 月 21 日（水）、定款 29 条 2 項に基づく理事会決議において開催され、以下の審議を行った。

議決年月日	議決事項	
2020 年 10 月 21 日	(1) 公益社団法人日本植物学会賞選考委員会内規 改定案	承認
	(2) 公益社団法人日本植物学会賞選考の選考に関する覚書 改定案	承認

(8) 2020 年度第八回理事会

2020 年 12 月 15 日（火）、定款 29 条 2 項に基づく理事会決議において開催され、以下の審議を行った。

議決年月日	議決事項	
2020 年 12 月 15 日	(1) 公益社団法人日本植物学会 J P R 編集委員の新メンバーについて	承認

(9) 2020 年度第九回理事会

2020 年 12 月 21 日（月）、定款 29 条 2 項に基づく理事会決議において開催され、以下の審議を行った。

議決年月日	議決事項	
2020 年 12 月 21 日	(1) 「気象庁による生物季節観測見直し要望書」への賛同について	承認

7. その他 諸規則の整備を行った。

### Ⅲ. 会員の推移（夏期）

【人】

会員種別	2011. 7. 14	2012. 7. 9	2013. 8. 1	2014. 8. 13	2015. 8. 18	2016. 8. 23	2017. 7. 21	2018. 7. 12	2019. 7. 3	2020. 7. 6
名誉会員	8	8	7	7	7	7	6	5	5	5
正会員	1,915	1,855	1,907	1,903	1,874	1,826	1,818	1,812	1,741	1,692
内終身会員	12	11	11	10	10	10	10	9	8	8
内50年会員	119	125	124	121	118	114	112	109	113	102
内シニア会員									48	80
内学生会員	396	347	408	426	451	405	421	411	383	357
内上記以外の 正会員	1,388	1,372	1,364	1,346	1,331	1,297	1,275	1,283	1,189	1,145
団体会員	14	14	14	14	14	10	10	10	10	10
賛助会員	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
海外個人会 員(日本人 含む)	126	122	137	124	126	134	133	147	152	132
合 計	2,065	2,001	2,067	2,049	2,022	1,978	1,968	1,975	1,909	1,841

### Ⅳ. JPRの出版状況の推移

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
投稿件数	410	459	481	562	520	632	651	712	532	961
（国内）	70	66	62	61	53	73	69	70	61	59
（海外）	340	393	419	501	467	559	582	642	471	902
出版論文数	69	73	81	74	86	106	95	86	67	67
（国内）	42	47	37	37	43	50	45	44	34	32
（海外）	27	26	44	37	43	56	50	42	33	35
IF	1.746	2.059	2.507	1.823	1.684	1.899	2.000	2.082	2,185	未定

### Ⅴ. 学術集会（大会）の参加者数・演題数の推移

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
開催地	東京	姫路	北海道	神奈川	新潟	沖縄	野田	広島	仙台	名古屋
参加者数	975	742	808	1,002	910	669*	964	846	815	1,199
演題数	571	474	552	547	513	524	613	568	563	541

\*、大会参加費を支払った人数

## 事業報告に係る附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。